



国土交通省

富山河川国道事務所

記者発表資料

平成29年9月4日
配布：県政記者クラブ
扱い：配布後解禁

平成29年度北陸地方整備局防災訓練を実施します ～H16中越地震と同等の規模を想定した訓練～

北陸地方整備局管内において大規模地震が発生したとの想定で、机上訓練を行います。各種通信機器を用いて、情報収集から被災箇所
の応急復旧開始までの対応を行います。

○日 時：平成29年9月5日(火) 9:00～12:00

○場 所：富山河川国道事務所 5階 災害対策室

○訓練想定：新潟県 長岡市、小千谷市 震度6強
富山県 震度4
詳細は、別添資料の通り。

○主な訓練内容(富山河川国道事務所)

1. 災害発生から被災状況確認までの情報伝達
2. 衛星通信可搬局装置(Ku-SAT II)の設営(実際の画像伝送は行いません)

○取材に関して

- ・取材時間は、8時30分からとします。下記
担当者が対応します。
- ・撮影は、下記担当者の指示に従ってください。
- ・災害発生や災害発生の恐れがある場合は、
訓練を中止します。



平成28年度 訓練実施状況

担当・お問い合わせ先

■防災課 総括地域防災調整官 小沼 仁

TEL：076-443-4728
FAX：076-443-4729



パレットとやま

国土交通省北陸地方整備局

富山河川国道事務所 Tel:076-443-4701(代)

〒930-0837 富山市奥田新町2番1号 <http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/>

1. 日時

○平成29年9月5日（火）9時00分[発災]から12時00分

2. 場所

○北陸地方整備局本局及び全事務所の各災害対策室等で実働及び机上訓練を実施

3. 訓練参加者

○地震災害対応訓練

本局、事務所 [防災担当代表者]

関係機関 新潟県(TV 会議)、新潟地方気象台(リエゾン)、北陸信越運輸局(リエゾン)、
第九管区海上保安本部(リエゾン)、災害協定締結者 等

○安否確認訓練

北陸地方整備局全職員(期間業務職員含む。)

4. 訓練の目的

本防災訓練は大規模な地震発生を想定し、速やかな体制の確保と被災状況の把握及び本省への報告など初動対応手順の確認、役割分担の確認、情報伝達系統の確認、安否確認を行い、災害発生時において迅速かつ的確な災害対策の実施に資することを目的とする。

5. 今年度の訓練のポイントと主な訓練内容

(1) 初動時における情報収集訓練

▶河川、道路、港湾、鉄道、空港等の被害状況の把握やライフラインなど地域の被害状況を迅速に収集し、速やかに本省報告を実施する。

(2) UTMグリッド地図の活用

▶全事務所を対象に、陸上自衛隊・警察等で利用されているUTMグリッド地図を活用することで、関係機関との情報共有を円滑に行う。

▶また、局内全体で共通の地図を用いることで、被災状況等を一括で把握し災害対策本部内でのより円滑な情報共有を図る。

(3) DiMAPSの活用

▶災害発生時に収集した情報を集約し、Web地図上に統合表示するDiMAPSを活用し、災害対策本部内において各種災害情報をとりまとめ共有する。

(4) 大規模地震時を想定したTEC-FORCEの受援体制構築

▶他地整からのTEC-FORCEの受け入れ体制を構築し、指揮命令系統や役割分担を確認する。

(5) 通信手段が遮断された場合の情報収集

▶通信手段が遮断された地域が発生したことを想定し、通信手段の確保を行う。

(6) 災対法に基づく区間指定の手続き及び道路管理者による放置車両の移動訓練

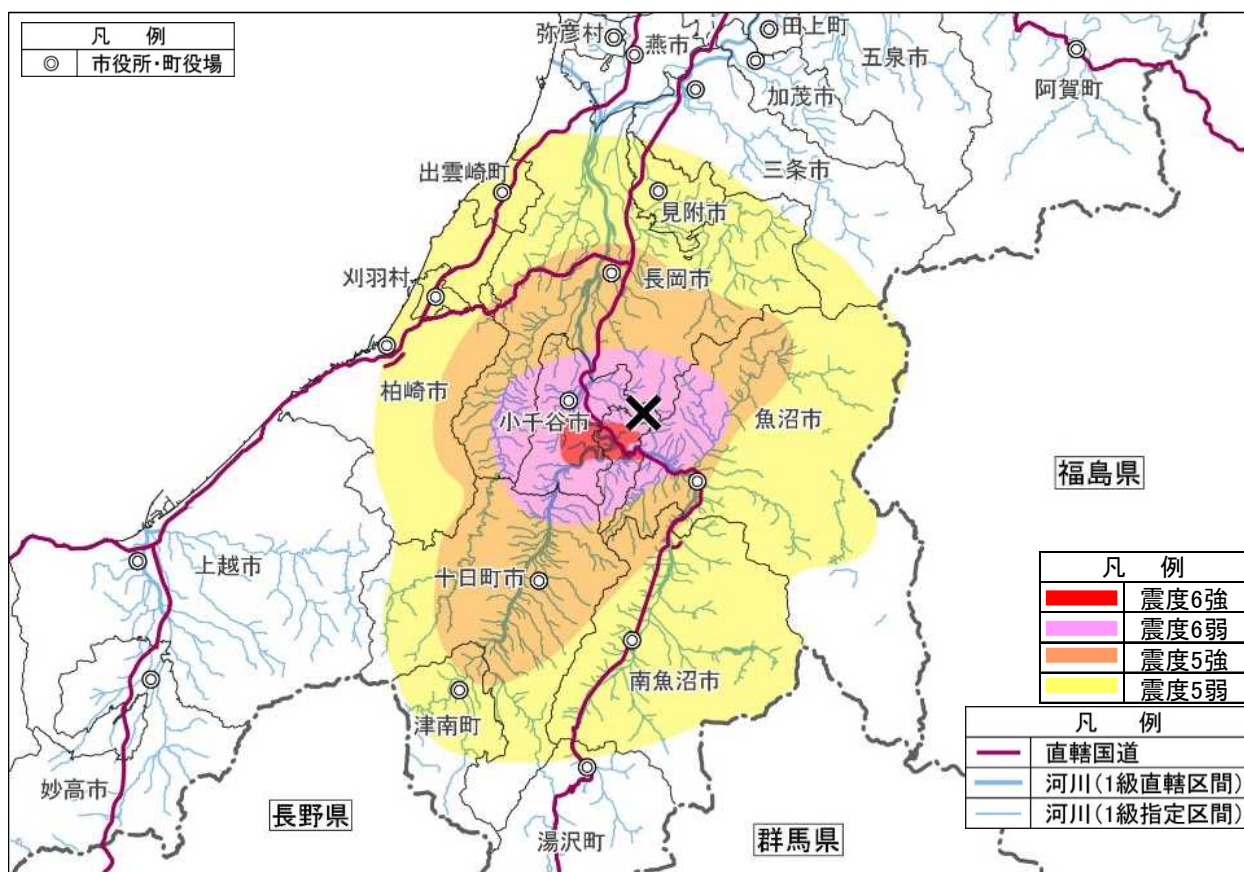
▶放置車両により閉塞された道路の緊急車両通行ルート確保のため、道路管理者による放置車両の移動を行う。

(7) 災害協定団体を活用した各種訓練

▶災害協定に基づき各種団体と訓練を行う。

6. 訓練想定地震

訓練で想定する地震はH16中越地震と同等の規模とし、下記のとおり想定する。



地震の震源地	長岡市川口	震源の深さ	13 km
震源の規模	M6.8	津波	なし
市町村別最大震度			
震度 6 強	長岡市、小千谷市		
震度 6 弱	十日町市、魚沼市		
震度 5 強	柏崎市、南魚沼市、津南町		
震度 5 弱	三条市、見附市、出雲崎町、湯沢町、刈羽村		
震度 4	上記以外の北陸地方整備局管内		

※港湾空港関係については平成19年中越沖地震と同等規模を想定する。

衛星通信可搬局装置 (Ku-SAT II) について

※事務所5階に設営します。実際の画像伝送は行いません。



Ku-SAT II 設営状況



Ku-SAT II 設営作業

